

竹田市立南部幼稚園 6月上旬(6月8日~14日)「かえるごっこ」

【ねらい】友だちとイメージを共有して一緒に遊ぶ楽しさを味わう

【内容】クラスみんなで同じイメージをもち、自分の思いを出しながら、遊びを創り出していくことを楽しむ

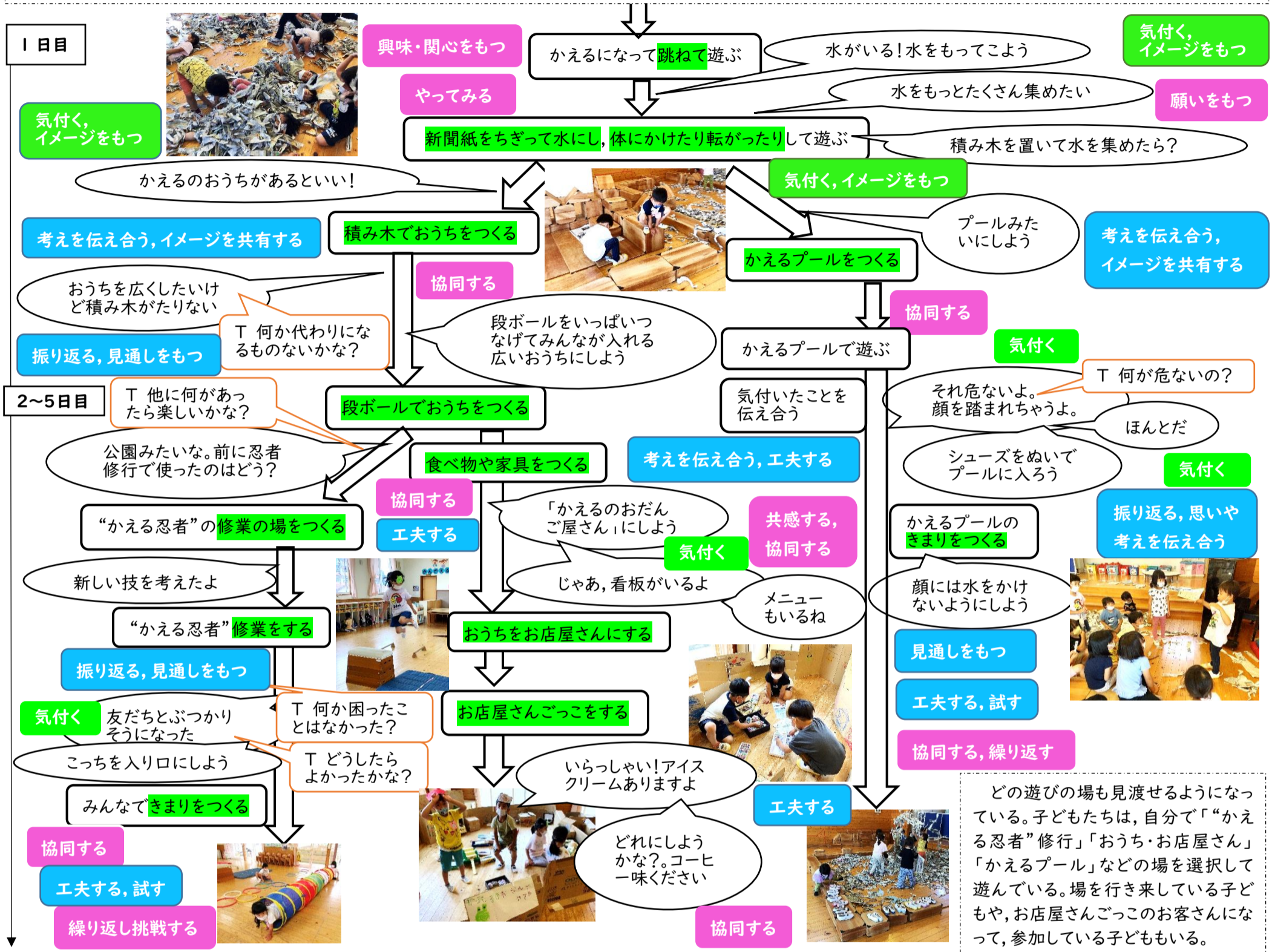
【遊びのプロセス】*遊びの中で育まれている資質・能力を下のように表している

知識・技能の基礎 知識・技能の基礎

思考力・判断力・表現力の基礎

学びに向かう力・人間性等

子どもたちは、園庭で見つけたかえるを图鉴などで調べて、飼育し、触れたり餌をあげたりしながら、毎日様子を観察している。保育者は、かえるを飼育して気付いたことを出し合ったり、かえるが出てくる絵本(紙芝居)や歌、体操を保育に取り入れたりして、子どもたちのかえるへの興味・関心を支えている。



どの遊びの場も見渡せるようになってきている。子どもたちは、自分で「かえる忍者」修行「おうち・お店屋さん」「かえるプール」などの場を選択して遊んでいる。場を行き来している子どもや、お店屋さんごっこのお客さんになって、参加している子どももいる。

<p>□環境の構成・ ◇援助のポイント</p>	<p>□子どもの思いが実現できるような道具(新聞紙・大型積み木・段ボール箱など)や場の準備、使いたいときに自分たちで出して遊べるような道具の配置、状況に応じたタイミングでの素材や道具の提示</p> <p>◇かえるへの興味をもち、友だちとイメージを共有して楽しめるような共通の経験をする場を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かえるの飼育で気付いたことを共有する場 ・かえるが出てくる絵本の読み聞かせ、かえるの歌を歌う、かえるの体操等の経験 等 <p>◇遊びが発展していくように、様子を見ながら言葉をかけたり、子どものつぶやきや気付きに共感したりして、周りに広げる。</p> <p>◇共通の目的を意識して遊びを進められるように、振り返りの場をもち、思いや困りを出し合い、みんなで共有したり、相談したりするよう促す。</p>
-----------------------------	--

【本活動・遊びで着目したい「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」】		
自立心	協同性	言葉による伝え合い
友だちと一緒にかえるになりきって遊ぶ中で、「かえるプール」「かえるのおうち」という共通のイメージをもち、互いの願い、考えなどを共有し、「もっと~したら」「~してみたらどうかな」と考えを伝え合う中で、その実現に向けて、イメージが広がり、工夫したり、協力したりして、楽しんでいる。	「~してみたい」という自分のイメージや願い、遊びの中で気付いたことや困りなどを言葉にして伝え合う中で、相手の話を聞いて理解したり、共感したりしている。言葉にして伝え合うことで、協同性につながり、一緒に遊ぶ楽しさが増している。	道徳性・規範意識の芽生え

【小学校以降へつながる資質・能力】

《知識・技能の基礎》	《思考力・判断力・表現力の基礎》	《学びに向かう力・人間性等》
<ul style="list-style-type: none"> ・かえるの生態を、图鉴などで調べて理解する ・新聞紙や段ボールなど、いろいろな素材の性質に気づき、イメージに合わせてつくる ・用具の使い方を知り、使って体を動かす 	<ul style="list-style-type: none"> ・試したり工夫したりする ・友だちの考えに触れ、新しい考えを生み出す喜びや楽しさを知る ・自分なりの表現をする ・活動を振り返り、次への見通しをもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・好奇心をもち、主体的に遊ぶ ・目的を共有し、話し合ったり、時には折り合いをつけたりして協力する